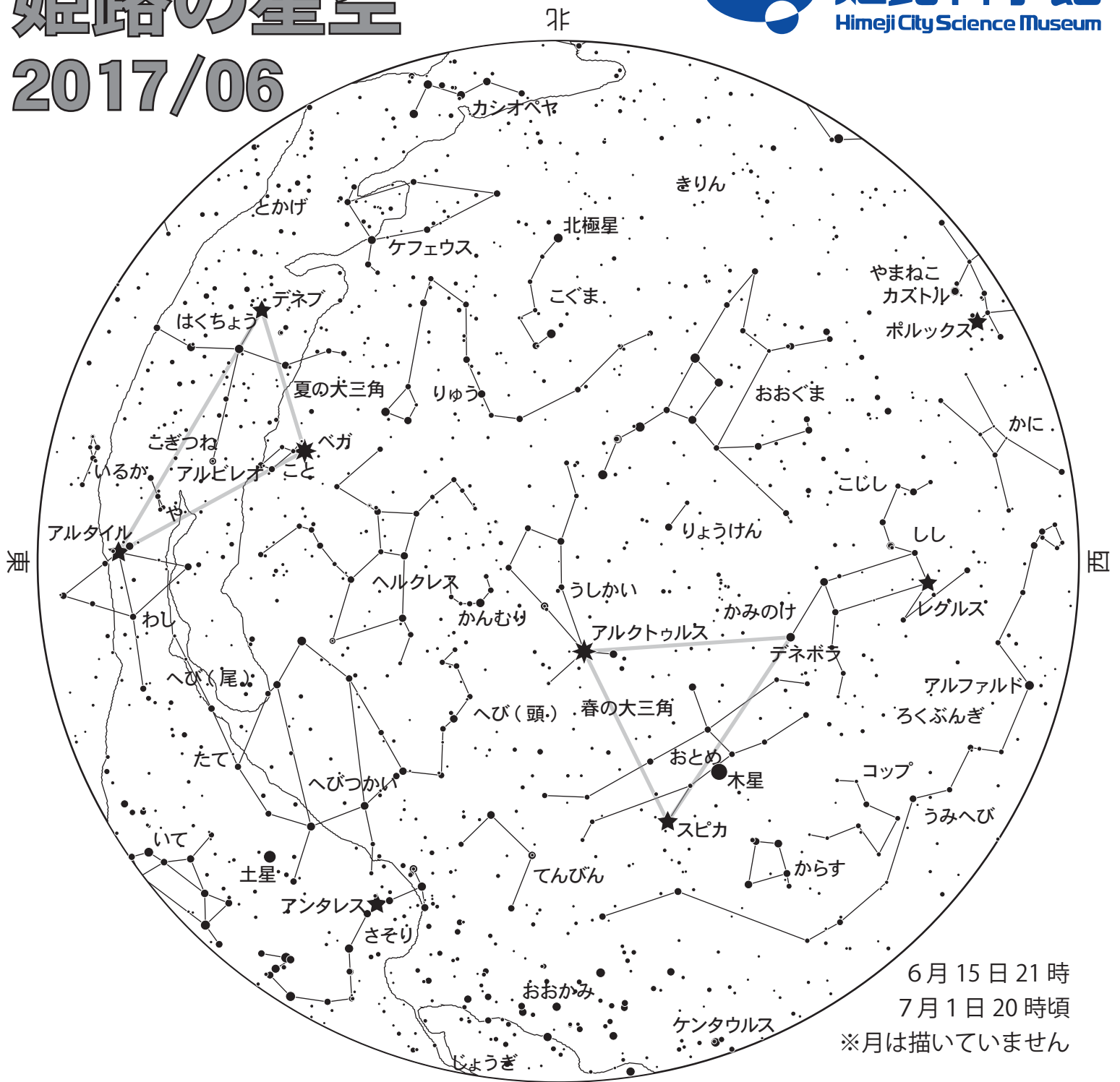


# 姫路の星空

## 2017/06



姫路科学館  
Himeji City Science Museum



6月15日 21時  
7月1日 20時頃  
※月は描いていません

### 惑星

木星が一番星として南の空に輝きます。木星は太陽系最大の惑星です。望遠鏡でのぞくと模様や衛星が見えます。また、南東の空には土星が見えるようになりました。夏休みに見やすくなるので、晴れた日に、星の子館の天文台などにでかけて観察してみましょう。

### 星座の星

空の西半分には春の星が見えています。西に見えるしし座のレグルスは「小さな王様」と名づけられています。北西の空高くには北斗七星があります。そのまわりがおおぐま座です。北斗七星からは北の目印、北極星が探せます。北斗七星から春の大曲線をたどると、うしかい座のアルクトゥルス（熊の番人）、おとめ座のスピカ（とがったもの）が見つかり、これらに、しし座のデネボラ（尾）を結び、春の大三角ができます。

東の空には夏の星が見えます。南東にさそり座のアンタレス、北東にはこと座のベガとはくちょう座のデネブ、東の空にわし座のアルタイルが見え、3つを結び夏の大三角になります。

梅雨の合間の晴れ間は貴重です。春から夏へと移りゆく星たちを見上げてくださいいね。